



最新の支援学校を視察

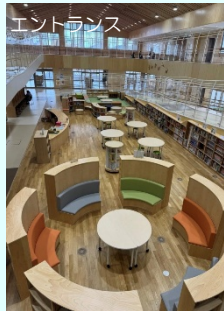
岐阜県各務原(かがみがはら)市で今年度開校したばかりの、市立かがみがはら支援学校を視察してきました。堺市では百舌鳥、上神谷の二つの支援学校がパンク状態となり、新たに中区の宮園に分校を設置しますが(R8開校)、宮園への転籍を望む児童生徒(保護者)がほとんどおらず、**既存二校の過密解消には至らない見込み**です。開校と共に多くの児童生徒が転籍したかがみがはら支援学校は、いったい何が違うのか。この目で確認してきました。



同行の森田議員(左)と小堀議員(右)

驚くほどに充実した施設

まず入って驚くのが、広々としたエントランスが図書室を兼ねていること(右写真)。どこかの図書館に来たのかと錯覚してしまいます。子どもたちは朝、ここで好きな本を読み、気持ちを落ち着かせてから教室へ向かいます。温水プールや、障がい児でも楽しめるインクルーシブ遊具、教室には床暖房まで。県産木材をふんだんに使った校舎はあたたかみがあり、解放感があります。



公園のような校庭

それぞれの設備に理由がある

なぜ温水プールなのか？障がい児には、急な予定変更への対応が苦手な子もいます。当日の天候で水泳が中止にならないように、との配慮です。重度障がい児でイスに座れず、床に寝転がる子がいます。だから床暖房です。一つひとつの設備に子どもたちへの配慮と、**各務原市の支援教育への哲学を感じました**。生徒会室まであり、会長さんの顔写真と名前、そして公約が貼り出されていました。教室が余ったからそうしたのではなく、校舎の設計段階で「必要な施設」として組み込んだのです。**子どもを、学校を作る当事者として尊重している証**です。



温水プール

支援教育をどうしていくか

宮園への転籍希望者がほとんどいないのは、予算をケチって、既存校より見劣りする中途半端な施設にしてしまったことと、施設整備にあたり当事者の声を聞かずに進め、配慮に欠いたことが原因と言えます。堺市は各務原市を見習い、今一度、障がい児の支援教育をどうしていくか。そこから作り直し**当事者と共有していく必要がある**でしょう。



かがみがはら支援学校の校舎

少量でも結構です。お力をお貸しください



ポスティングボランティア募集中！！

年4回発行しているこの議会活動報告を、ご近所に配布してもらえないでしょうか？ご協力いただける方は、LINEやメール、お電話等でご連絡ください。(連絡先は1ページ目参照)



ご意見をお寄せください！

FAX: 072-320-0103
Mail: takeshi_fuchigami@yahoo.co.jp

議員の仕事は、市民の声を市政に届けること。まずは「聞くこと」です。皆様のご意見、ご不満、お困りごと、何でもお聞かせください。政策立案に活用させていただきます。

お名前： TEL：
住所：

※匿名でも結構ですが、ご連絡先をご記入くださいましたら、必ずお返事いたします。

フッチーのつぶやき(編集後記)

毎号実施の堺区全戸ポスティングは多くのボランティアさんと、私も含めた身内によるもの。そのエース格の義父と兄が体調不良となり大ピンチ。この際、私がいつも以上に配って、配って、配って、配って参りたいところですが、議会内で働いて、働いて(×4)参らないといけなないので、皆様どうかお助けください。



ふちがみ猛志 議会活動報告 43



- 1977年堺生まれ、堺育ち
- 妻 娘16才、息子13才、10才
- 堺市立錦小学校 殿馬場中学校 三国丘高校 神戸大学法学部 卒
- 堺市議会議員(3期目)
- 保護司 ●養育里親
- 得意料理は春巻・かき揚げ



【ふちがみ猛志市政相談所】

堺区新町2-4 小山電ビル2F-A1
TEL/FAX: 072-320-0103
Mail: takeshi_fuchigami@yahoo.co.jp



2026年 心穏やかに過ごせますように！



永藤市長への厳しい声が身内からも

「堺にあまり変化を感じられないという声を非常によく聞く」「市長に就任して7年目、目標が達成できていないのは、そもそも目標が間違っているか、達成するアプローチが間違っているのか、どちらか」。議会で飛び出た永藤市長への批判の声は、なんと身内の維新の議員のもの。今まで市長をかばい続けてきましたが、とうとう本音が出たのでしょう。

使うべきものにちゃんと使う！

変化がないのも当然です。危機でもないのに「財政危機だ」と煽り、市民サービスを削り、お金を貯め

もくじ せひ2ページ目以降もご覧ください！

- P2. スーパー激戦区にスーパーを誘致した堺市
- P3. 金岡公園プール再整備/一時保護児童の通学支援 等
- P4. かがみがはら支援学校視察報告

こんできました。その額、約300億円！職員も大きな予算を伴う事業に消極的になり、まちづくりはことごとく停滞。何かにつけ、民間に安くやってもらうことばかり優先的に考え、市民の声は後回し(中面で一部の事例を紹介)。行政の仕事はお金を貯めることではなく、皆さんから**預かった税金を市民サービスとしてお返しすること**、イコール「適切に使うこと」です。堺市政がその当たり前に立ち返れるよう、今年も議会(チェック機関)の役割を果たして参ります。



あっちこっちぶっちゃー！

SAKAIトーク！

～話してみようわがまち堺～

堺区全校区開催！参加者のご意見から実現した施策も！



2月18日(水) 19:00 @浅香山校区地域会館	3月16日(月) 19:00 @湊校区地域会館
2月19日(木) 19:00 @錦綾地域会館	3月18日(水) 19:00 @安井校区地域会館
3月3日(火) 19:00 @湊西自治会館	3月19日(木) 19:00 @英彰校区地域会館
3月4日(水) 19:00 @錦西校区地域会館	3月23日(月) 19:00 @三国丘校区地域会館
3月8日(日) 13:30 @人権ふれあいセンター	3月24日(火) 19:00 @熊野地域会館
3月8日(日) 16:00 @大仙地域会館	3月25日(水) 19:00 @神石校区地域会館
3月13日(金) 19:00 @少林寺校区地域会館	3月26日(木) 19:00 @錦校区地域会館
3月15日(日) 13:30 @榎校区けやき会館	3月30日(月) 19:00 @三宝地域会館
3月15日(日) 16:00 @いこいの森会館(市小学校隣)	

ふちがみ猛志が「あっちこっち」で毎年開催している、**市政報告&意見交換の座談会**で、各回約1時間の予定です。予約不要、当日飛び入り大歓迎！お住まいの地域に関わらず、どなたでもお気軽にご参加ください。

スーパー激戦区にスーパーを誘致した堺市

一等地の市有地の活用事業

JR堺市駅徒歩5分に、5000㎡超の市有地(斎場の駐車場)がありました。数年前、堺市はここに民間事業者を誘致する方針を決定。地域にない「新たな機能」を導入して都市魅力を高めることと、賃料収入を得ることが目的でした。事業者を公募し選ばれたのが、スーパーでした。しかし、周辺は複数のスーパーがある激戦区。なぜそこに、市がスーパーを誘致したのでしょうか？



当局が言う「新たな機能」とは？

当局いわく、これは単なるスーパーではなく「地域にない新たな機能」なのだ。しかし、同じ建屋の100円ショップも自転車店も、すぐ近くにあるものです。当局は、自転車店が「観光案内」と「サイクリストの休憩所」を兼ねていること、さらには「屋上広場」があること、それが新たな機能だと答えました。ですが、観光案内と言ってもパンフレットが、休憩所と言ってもウォーターサーバーが置かれているだけ。屋上広場についても、近くに広々とした東雲公園があり、とても「新たな機能」とは思えません。



賃金は適切だったのか

肝心の賃料はどうでしょう？ 1㎡あたり月額553円です。賃料は諸条件によって大きく変わるので一概に評価できませんが、不動産関係者に意見を聞いても「格安」との反応が大半です。参考までに事業用

の貸土地の広告を見渡しても、同じ中学校区の住宅街で約1.5倍、幹線道路沿いで約3倍の賃料の物件がすぐに見つかりました(R7.12時点)。やはり格安？

不公平な情報発信

この事業に応募したのは最終的に2社のみ。多数の応募があれば、競争性が働き、もっと魅力的かつ高い賃料での提案があったかもしれません。この事業については市のHP(ホームページ)に掲載したものの、報道発表や業界紙への掲載はなし。人知れずHPに載せても膨大な情報に埋もれ、気づくのは困難。一方、応募の2社は「事前調査」として市からヒアリングを受けていたため、直接情報を得ることができていました。公平な競争だったと言えるでしょうか。



市民ニーズを把握しようともせず

事業者を選定した選定委員会は、大学の有識者等で構成され、地元に通じた委員はゼロ。また、この事業にあたっての市民ニーズの調査もなし。こうして、貴重な市有地に、安価な賃料で、新たな機能だとは到底思えない、地域4軒目のスーパーがオープンしたのです。私は「情報発信の不公平さ、市民ニーズの把握不足」を指摘し、当局は今後の同種事業を念頭に、改善の意思と反省の弁を述べました。



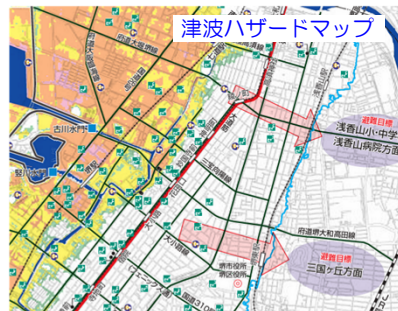
※本件は市の事業の進め方、選定基準に問題があったものであり、事業者に非があるものではありません。



防災上も必要！校庭に夜間照明を

中学校43校中、校庭に夜間照明があるのは27校。夏場は猛暑で日中に地域活動やスポーツがしづらいことや、災害避難所の設置や運営において夜間の校庭利用が想定されることから、夜間照明の重要性が増しています。しかし市は増設に消極的。それどころか、三国丘中学校は校舎の建て替え工事に伴い、既設の夜間照明が撤去され(工事で校庭の位置が変わるので)、工事後の再設置は未定。三国丘中は夜間照明の稼働率が市内で最も高く、さらには浅香山中や旭中

と共に、津波発生時には浸水地域からの避難者を真っ先に受け入れる避難所にもなります(防災上特別な役割がある)。その三国丘中の夜間照明をなくすのは防災の観点からも論外。夜間照明の設置を各校で進めるよう求め、当局は設置の検討を表明。



津波発生時は丘の上の三国丘中、浅香山中、旭中が津波避難者の一次避難所に。

金岡公園プールの早期整備を

金岡公園プールが老朽化により営業停止して2年以上。いまだに今後の再整備計画ができていません。そもそも1960年に完成した同プールは、2000年代から老朽化による段階的な施設の閉鎖が相次いでいました。完全閉鎖を見越して再整備計画を事前に作っておけば、今ごろは新プールが完成していたかもしれません。お金をケチることばかり考えて、「市民プール」という市民サービスの空白期間が長くなることには、考えが及ばなかったのでしょうか？

【金岡公園プールの沿革】

- 1960年 供用開始
- 2004年 飛び込みプール閉鎖
- 2012年 観覧用スタンド閉鎖
- 2022年 幼児用プール閉鎖
- 2023年 50m変形プール閉鎖



2023年のシーズン終了をもって全施設営業停止

一時保護の子に通学支援を

虐待等で一時保護所に保護された子ども(小中学生)は、親による連れ去りのリスクがない場合、職員同行での通学支援がなされています。しかしそれは、運動会や修学旅行などの行事ごとのみ。普段は通学させてもらえません。一時保護所・子ども相談所の人手不足が原因です。虐待等で家庭という居場所を奪われた子どもに、せめて学校という居場所だけでも確保してやりたい。豊中市や明石市がタクシーを使って通学支援をしている事例を示し、堺市での実施を要望。当局は「早急に検討し、適切に対応したい」と答弁。



議会の外でも、小さなことからコツコツと。



エアコンの効きが悪い最上階の教室の天井を断熱工事。



信号を覆い隠した街路樹の枝葉を剪定。



公園の街灯の点灯時間を早朝まで延長。冬場も明るく。



飛び出し事故の多い交差点に注意喚起の路面表示。

地域のお困りごとは、ふちがみ猛志にぜひご相談ください！

計画策定が遅いことに加え、もう一つの問題が策定作業の順序です。市が計画策定に着手して真っ先にやったのが民間事業者へのヒアリングです。市民アンケートの実施はそれからずっと後。本来は逆。まず最初に市民ニーズを把握するべきで、それを実現するために「役所だけではできない」とか「民間の力を借りた方がよりよくなる」という時に、初めて民間事業者に意見を求める。それが正しい順序のはず。私の二つの指摘に、当局は金岡公園プールの早期再整備に力を尽くすことを表明し、事業者ニーズより市民ニーズが優先だという認識を示しました。



同じく老朽化が進む体育館・陸上競技場も含め、金岡公園の総合運動公園としてのリニューアルが期待される

自動運転バスと運転士不足解消

バスの運転士不足解消に向け、堺市は20億円以上の公費を投じ、自動運転バスの導入を推進。しかし、対象区間の堺東駅～堺駅間で完全自動運転が実現するのは、まだ7～8年ほど先のように。しかも保安員の同乗が必要かもしれず、無人運行となるかは不透明。一方、運転士不足は差し迫った問題。運転士不足で金剛バスが廃業した富田林市では膨大な行政負担が発生。そうならぬよう、市の予算を使ってでも処遇改善等の運転士確保の取り組みを進めるべき！私の主張に「効果的な施策を検討する」と当局は応じました。

